

表 令和7年3月の火山現象に関する特別警報、警報、予報及び情報の発表履歴

火山名	特別警報、警報及び予報の状況	発表した火山現象に関する特別警報・警報・予報・情報等		概要
桜島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル3、 入山規制)	解説情報 第18～26号	3日、7日、10日、14日、17日、21日、24日、28日、31日 16時00分	活発な噴火活動が継続。南岳山頂火口の爆発、噴火、噴煙、大きな噴石、火映の状況。昭和火口では噴火及び火映は観測されず。 現地調査による火山ガス（二酸化硫黄）放出量は3100[t/日]（28日）で非常に多い。火山性地震、微動の発生状況。 GNSS連続観測では、始良カルデラ（鹿児島湾奥部）を挟む基線で長期にわたり地下深部の膨張を示す緩やかな伸びがみられる。 始良カルデラ深部にマグマが蓄積した状態、火山ガスも概ね多いことから、今後も噴火活動が継続すると考えられる。
		降灰報(速報)	25日 11時57分	噴火発生から1時間以内に予想される、降灰量分布や小さな噴石の落下範囲。
		降灰予報(詳細)	11日 18時07分 25日 12時08分	噴火発生から6時間先まで（1時間ごと）に予想される降灰量分布、降灰開始時刻。
岩手山	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、 火口周辺規制)	解説情報 第10～13号	7日、14日、21日、28日 16時00分	11日の上空からの観測(陸上自衛隊協力)で、黒倉山・姥倉山鞍部の地熱域は前科よりわずかに拡大の可能性があるが、他の噴気や地熱域に特段の変化はない。 山頂付近の火山性地震は11月頃から発生頻度がやや高まっていたが、2月14日以降は観測されていない。黒倉山付近の微小な火山性地震は、引き続き少ない。山頂のやや深部の低周波地震が23日に一時的に増加したが、その他の岩手山周辺で地震活動に大きな変化はない。 傾斜計やひずみ計、GNSS連続観測では、2024年2月頃から山体の深部の膨張を示す変動が観測されている。 引き続き、西岩手山（大地獄谷・黒倉山から姥倉山）の想定火口から概ね2kmの範囲に影響する噴火の可能性がある。
浅間山	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、 火口周辺規制)	解説情報 第18～26号	3日、7日、10日、14日、17日、21日、24日、28日、31日 16時00分	火山性地震は2024年4月中旬以降増加した状態。同3月中旬からの山体西側の膨張を示す傾斜変動は5月以降は停滞。 火山ガス（二酸化硫黄）放出量は200～700[t/日]（7、12、18、25、28日）、2023年3月以前より多い。 引き続き、火口から概ね2kmに影響する噴火の可能性がある。
焼岳	噴火予報 (噴火警戒レベル1、 活火山であることに留意)	解説情報(臨時) 第1号	4日 05時10分	3日14時頃から山頂付近で微小な火山性地震が増加。GNSS連続観測で、山頂付近の緩やかな膨張が続き中長期的に火山活動が高まってきている。地震がさらに増加した場合、噴火警戒レベル引上げの可能性はある。
	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、 火口周辺規制)	火口周辺警報	4日 09時20分	山頂直下とみられる火山性地震が増加。今後、想定火口域から概ね1km範囲に影響する噴火の可能性はある。
		解説情報 第2～20号	4日 09時30分 4～17日 16時00分 21日、24日、28日、31日 16時00分	3日14時頃から山頂付近で微小な火山性地震が増加し多い状態。8日2時16分頃の火山性地震発生後、山頂方向が上がるわずかな傾斜変動が一時的に観測された。10日以降地震活動の低下がみられる。 14日の上空からの観測（岐阜県協力）では、噴気の状況に特段の変化はない。 GNSS連続観測で、山頂付近の緩やかな膨張をと考えられる変化が続き、中長期的に火山活動が高まってきている。想定火口域から概ね1km範囲に影響する噴火の可能性はある。

令和7年3月 地震・火山月報（防災編）

火山名	特別警報、警報及び予報の状況	発表した火山現象に関する特別警報・警報・予報・情報等		概要
御嶽山	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、 火口周辺規制)	解説情報 第31～39号	3日、7日、10日、14日、17日、21日、24日、28日、31日 16時00分	火山性地震の日回数は0～1回。火山性微動は観測されていない。GNSS連続観測で、12月頃から一部の基線でみられたわずかな伸びは、2月頃から停滞。7日の上空からの観測（岐阜県協力）では、特段の異常はない。 12月中旬以降、山頂付近で火山性地震の増加や、山頂方向が隆起する地殻変動を伴う火山性微動が観測され、火山活動が高まっている。地獄谷火口から概ね1km範囲に影響する噴火の可能性はある。
霧島山 (新燃岳)	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、 火口周辺規制)	解説情報 第10～13号	7日、14日、21日、28日 16時00分	10月下旬頃から火口直下で火山性地震が増減を繰り返し、地震は多い状態で経過。監視カメラでは火口の噴煙及び周辺の地熱域に特段の変化は認められない。 GNSS連続観測では、11月頃から地下の膨張と考えられる基線のわずかな伸びが認められる。霧島山深部の膨張を示す変化は認められない。 火口から2kmの範囲に影響する噴火の可能性はある。
	火口周辺警報 (噴火警戒レベル3、 入山規制)	火口周辺警報	30日 03時53分	28日頃から火口直下で火山性地震が増加し、30日02時頃から山体の膨張を示す地殻変動がみられる。GNSS連続観測では、11月頃から付近の地下の膨張を示す基線のわずかな伸びが認められる。火山活動はさらに高まった状態。火口から概ね4kmの範囲で、大きな噴石などに警戒。
		解説情報 第14～16号	30日 05時00分 30日、31日16時00分	10月下旬頃から火口直下の火山性地震が増減を繰り返し、3月28日から30日にかけて一時的に増加し多い状態。 傾斜計では、30日に山体の膨張および収縮を示す変動がみられた。GNSS連続観測では、11月頃から付近の地下の膨張を示す基線のわずかな伸びがみられる。 新燃岳の火山活動はさらに高まった状態。火口から概ね4kmの範囲で警戒。
薩摩硫黄島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、 火口周辺規制)	解説情報 第9～13号	3日、10日、17日、24日、31日 16時00分	白色の噴煙と、夜間に時々高感度の監視カメラで火映を観測。火山性地震は少ない状態。火山性微動はなし。GNSS連続観測では、山体の膨張を示す変化はない。 長期的には熱活動や噴煙活動が高まった状態が続き、火口周辺に影響する噴火の可能性はある。
諏訪之瀬島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、 火口周辺規制)	解説情報 第9～13号	3日、10日、17日、24日、31日 16時00分	御岳火口で噴火活動が継続。爆発、噴煙、火映の状況。大きな噴石の飛散。 島の西側付近で火山性地震が12日02時台に一時的に増加し、島内で震度2を観測。その後は減少し少ない状態。火山性微動は主に噴火に伴って発生。 GNSS連続観測では、10月以降、島の西側やや深部でマグマ蓄積量増加を示唆するわずかな変動が認められる。 長期に噴火活動が継続し御岳火口周辺では大きな噴石が飛散する可能性がある。
秋田駒ヶ岳	噴火予報 (噴火警戒レベル1、 活火山であることに留意)	解説情報 第1号	28日 11時00分	27日20時32分と22時59分に振幅の小さな火山性微動が発生。低周波地震は27日から4回観測。その他の地震活動に特段の変化はない。 山頂付近では2017年以降、火山性地震の発生頻度がやや高い状態、女岳付近では熱活動が継続。火山活動の活発化は認められないが、今後の情報に留意。

注1) 表中、解説情報とは「火山の状況に関する解説情報」のことである。

注2) 岩手山、浅間山、焼岳、御嶽山、霧島山（新燃岳）、桜島、薩摩硫黄島、諏訪之瀬島においては、噴火警報を発表している間、毎日02時から3時間毎に8回降灰予報（定時）を発表している。焼岳では4日11時に開始した。